

# ほけんだより 3月

NO. 11  
 令和7年3月10日  
 江戸川区立清新第一小学校  
 校長 石橋 悟

令和6年度も残すところ約2週間となりました。時の流れの速さを感じます。春は別れの季節と言われています。この1か月は日頃お世話になっている人や、大切な人に対して、感謝の気持ちをたくさん届ける月にするとういことかと思ひます。離れてからでは伝えたくてもなかなか伝えられないこともあります。毎日会っているこの時を大切に日々過ごしてみてください。

みなさんにとってこの1年はどんな1年でしたか。今年度1年間の振り返りをし、来年度の目標を決めていけるとよいと思ひます。自身の健康についてもぜひ振り返っていただき、どのような生活をしたら、来年度も健康・安全に過ごせるか、考えてみてください。

## 3月の保健目標

★ 1年間の反省をしましょう。



今年度1年間で保健室を利用した人は、3832人でした。これは2月までの集計です。昨年度は4117人でしたので、昨年度よりも児童数が減り、利用の人数も減っています。



けがや病気ではなく、保健室のお手伝いに来てくれる人が今年度はたくさんいました。いつも助けてくれて本当にありがとうございました！



保護者の方へ

性についてのおはなし

今年度は、12月に助産師の先生をお招きし、性に関する保健指導を5・6年生の児童と参加を希望する保護者の皆様を対象に行いました。また、2月には4年生の保健学習の時間に養護教諭が性についての授業を学級担任とともに行いました。保健指導、保健学習それぞれの内容と、その時にもらった感想を一部抜粋してご紹介いたします。

12月の性に関する保健指導について（講師：助産師 やまがた てるえ先生）

- ボディイメージについて  
 どんな体もあなたの体であること。美しい、かっこいい、かわいいは人それぞれであり、自分の「からだ」の自己決定は自分であることができる。
- 同意とコミュニケーション  
 自分の体は自分のもの。安心できる「きより」を考えよう。声をかけることは、「相手」も「自分」も優しく生きるヒントになる。
- プライベートゾーン  
 自分以外の人に同意なく、「見ない」「見せない」「さわせない」「写真を撮らない」。自分をまもるために「いやだ。」って言ってよい。「はなれる」。信頼できる大人に「話す」。

【児童の感想】

- 人の体を勝手にさわってはいけないということ。
- 自分も「人に合わせなくちゃ」と思っていたので心に響きました。
- ロがプライベートゾーンだということを知りました。

【保護者の感想】

- 私の時代とは異なる性教育の内容で、この時期の子供たちに合った内容に納得しました。
- 子供の反応を見ながら内容を共有できたこと、高学年というタイミングもよかったと思ひます。子供を守るためにも親の性の常識も正しい知識で更新することが大切だと思ひました。

2月の保健学習について（めあて：思春期に起こる体の働きの変化や心の変化を知ろう）

- 男女それぞれの体の中の構造を説明し、新しい命のもとが体の中には存在するというこゝと。
- 女子の体の中の変化  
 思春期には初経を迎えること。初経を迎える時期、痛みの感じ方には個人差があること。
- 男子の体の中の変化  
 思春期には精通を迎えること。精通を迎える時期には個人差があること。
- 心の変化  
 思春期には、異性や自分以外の人のが気になったり、仲良くしたいという気持ちが高まったりする。それと同時に、人を傷つけてしまう発言や行動が出てきやすい時期でもあるから、今まで以上に発言や行動に気をつけなくてはならない。何かに傷ついたり悩んだりしたときには、身近な大人（家族、先生、スクールカウンセラーなど）に相談してほしい。

【児童の感想】

- 個人差はあるけど、いつ起きるかわからないので正直不安。でもこの授業を受けて少し安心した。
- 互いを知ることによって思いやり行動を考えたりできるので大事。
- 命のよとの小ささにびっくりした。・友達を傷つけないよと心の変化にも気をつけようと思ひた。
- 異性の体について考えることは少なく、たくさん知って覚えようと思ひた。

養護教諭よりご挨拶

今年度も学校保健教育にご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございました。

児童、保護者の方々に支えられての一年間でした。安心して利用してもらえるよう、気を引き締めて対応を行って参ります。ありがとうございました。中川

来室対応や授業、休み時間を通してたくさんの児童と関われるこのお仕事。毎日が楽しく幸せを感じています。今年度もありがとうございました。小島